

情報ひろば



行方市の人口

総数 36,174人 (-46)
 男 18,000人 (-25)
 女 18,174人 (-21)
 世帯数 12,711世帯 (-14)
 平成29年1月1日現在
 ※外国人住民を含む
 ()は前月との比較

行方市民憲章

やさしい自然
 かがやく人
 わたしたちがつくる
 魅力あるまち、行方市



行方市のうた

(1番)
 われを育む 里山は
 大地の恵に 満ちあふる
 朝日 湖に輝き
 夕日 山の端そめる
 ああ ふるさと わが希望
 (2番)
 祭りばやしに 心おどり
 風土記の里に 童の声はすむ
 谷津田 風にそよぎ 稲穂
 黄金に輝く ああ ふるさと
 ああ わが 安らぎ
 (3番)
 古のなごり 受けつぎし
 大空 はばたく 子どもの
 夢を 育む 学舎は 拡く心の
 礎 ぞ ああ ふるさと
 ああ わが未来 あー

市役所 開庁時間

平日 (月曜～金曜)
 午前8時30分～午後5時15分
 ※休日窓口業務については、
 お問い合わせください。

造林事業者に補助金(県単)が交付されます

■補助の基準

造林面積500㎡以上(500㎡当たり最低75本以上植栽すること)

■補助額の目安

新規造林	8500円前後
下刈り	3000円前後

【500㎡/75本植栽の場合】
 右記の金額は平成28年度の査定額によるものです。面積や植栽本数により金額が変わります。

■手続きの方法

造林地(字・番地・面積・地目(山林))などが分かるようにしていただき、印鑑を持参して農林水産課(北浦庁舎)までお越しください。

○苗木のあっせんのみの方も受付します。種類については、スギ・ヒノキ・マツ・コナラ・クヌギ等あります。詳しくはお問い合わせください(苗木の配送は4月予定)。

■申込締切 3月17日(金)

■問い合わせ

農林水産課(北浦庁舎)
 ☎0291-35-2111



平成29年度明日の地域づくり委員会

委員募集!

みんなで地域づくりについて話し合い、茨城県へ提言してみませんか。

■任期

2年(平成29年委嘱の日から平成31年3月まで)

■募集人員 12人

■応募資格

鹿行地域(鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、銚田市)に在住の方

■応募締切 2月28日(火)

■応募方法

左記までお問い合わせください。

■問い合わせ

茨城県鹿行県民センター 県民福祉課
 (銚田合同庁舎内)

☎ 0291-33-4110

FAX 0291-33-3630

✉ rokose01@pref.ibaraki.lg.jp

http://www.pref.ibaraki.jp/kennin/

rokko/

おひな様とつるし雛を飾ります (麻生藩家老屋敷記念館)

今年で5年目となる麻生藩家老屋敷のひな飾り。

手作りのつるし雛が早春の彩を添えてお待ちしております。ぜひ足を運んでみてください。

※ひなまつりは、女の子の健やかな成長を祈る節句の年中行事です。

■期間 2月2日(木)～3月3日(金)の木・金・土・日・祝祭日

■時間 午前9時～午後4時 ■場所 麻生藩家老屋敷記念館(麻生1153-1)

■休館日 月・火・水(祝祭日開館) ■入館料 無料

◆イベント◆

2月25日(土) 午前10時～午後2時

- ・つるし雛づくり教室・民話の読み聞かせ・甘酒の無料配布(なくなり次第終了)
- ・福田家ゆかりの掛け軸特別展示

【問い合わせ】生涯学習課(北浦公民館内) ☎0291-35-2908

過払い金回収

回収実績 6000件

ケガのある交通事故

相談実績 年間400件

B型肝炎給付金

※3600万円支給の可能性

相談無料・着手金0円+成功報酬 秘密厳守



LEGAL PLUS

弁護士法人リーガルプラス

茨城県弁護士会所属

国道124号

リーガルプラス

かしま法律事務所

イオンそば

お問合せ
予約専用

☎0120-13-4895

受付時間(月～土曜日)
9:00～20:00

スマートフォンをお持ちの方は、
2次元コードから行方市公式ホームページをご覧ください。



行方市公式ホームページ
閲覧用2次元コード

本市のまちづくりに協力していただいている方・団体等に、話題を提供いただき、さまざまな『男女共同参画』について、コラムを連載します。市民の皆さまの声もお寄せください。ご意見をお待ちしています。

子育て中の女性だからこそ、できること。 ～ Vol.1 ～

合同会社ままのえん 代表 小林 あゆみ

子育て中だから、何もかも我慢しなければならないの？子育てももちろん大切にしたいけれど、専業主婦であるがゆえに眠らせているスキル、能力がもったいない。仕組みさえあれば、子育て中の専業主婦でも社会とつながり、活躍できる場があり、それが収入につながる場になるのではないかとそんなことを考えて専業主婦だった私が仲間と共に会社を設立したのが、今から6年前、我が家の子どもたちが6歳と3歳のころです。

初めまして、さいたま市在住の合同会社ままのえん代表、小林あゆみです。昨年度、行方市の定住促進事業でお声がけいただき、初めて行方市を訪れたのをご縁に、全3回のコラムを書かせていただくことになりました。

行方市の子育て環境とさいたま市の子育て環境、同じ子育てでも大きな違いがあることを実感しました。会社として日本各地の市町村での子育て環境に触れることも増えてきましたが、その土地ならではの「子育てにおける地域課題」があります。さいたま市ですと、核家族の問題、保育園の待機児童問題、転勤の問題、東京都内等遠方への勤務の問題などなど。「家族のことを考えてやむを得ず専業主婦になった」子育て中の女性たちがいます。

保育園に預けたいのに預けられない、働きたいのに働けない。このような「我慢をしている状態」は可能であれば解消したいですね。とはいえ、どうしても変えられないこともあるし、残念ながら自分たちでは何ともできないこともあります。であれば、見方やとらえ方を変え、既存の枠にとらわれず柔軟な発想を持つことで、思ってもいなかったことが可能になることもあります。

合同会社ままのえんには、超短時間勤務や単発のお仕事、在宅のお仕事、内職での製作など、子育てをしながらも、フルタイムで働くのではなく、さまざまな形でお仕事をし、活躍している女性たちがたくさんいます。今回は、自分らしく活躍する女性たちの紹介をさせていただきますね。



市内で行われた定住促進事業座談会



合同会社ままのえん ミーティング

意外な事実 約80%の都道府県で地元紙が県内シェアNo.1と言う事実!

犯人は 茨城新聞社です!

県内の細かなニュースはテレビ、ネットには登場しません。

なのに、残念ですが地元紙“茨城新聞”のシェアは第3位です。

犯人はアピール不足の茨城新聞社です! でも、地元の話題や県内スポーツ等、

皆さんの身近なニュースは質、量ともNo.1!

是非この機会に無料で体感してください。

 茨城新聞社

お申込は
いますぐ TEL ☎ 0120-029-218

[お電話受付時間] 9:00~17:00 土日祝日を除きます

※本報は2014年・2015年・2016年・2017年・2018年・2019年・2020年・2021年・2022年・2023年・2024年・2025年・2026年・2027年・2028年・2029年・2030年・2031年・2032年・2033年・2034年・2035年・2036年・2037年・2038年・2039年・2040年・2041年・2042年・2043年・2044年・2045年・2046年・2047年・2048年・2049年・2050年・2051年・2052年・2053年・2054年・2055年・2056年・2057年・2058年・2059年・2060年・2061年・2062年・2063年・2064年・2065年・2066年・2067年・2068年・2069年・2070年・2071年・2072年・2073年・2074年・2075年・2076年・2077年・2078年・2079年・2080年・2081年・2082年・2083年・2084年・2085年・2086年・2087年・2088年・2089年・2090年・2091年・2092年・2093年・2094年・2095年・2096年・2097年・2098年・2099年・2100年

**無料
進呈**

茨城新聞を7日間無料で
毎朝お届け致します。

※お申し込みいただいた方に限り、お申し込みいただいた地域に限りお送りいたします。